

ポーランドに留学して3年目になる松田晴花と申します。

1年目は、ヨーロッパで最も古い大学の1つであるヤゲヴォ大学（英: Jagiellonian University）にて、ポーランド語とポーランド文化を学ぶコースに通っていました。語学学習だけでなく、ポーランドの年中行事に参加したり、博物館や観光地に行くこともありました。そして市内イベントに参加することも多々あったので、すぐにポーランドに馴染むことができました。

また、寮に住んでいるため友達も芋づる式で、すぐにたくさんできました。困っていることや、ポーランド語が思うように習得できずに悩んでいると、すぐにたくさんの友達が集まって解決しようと助けてくれたり、励ましてくれたので、悲しいことがあってもすぐに吹き飛んでいました（笑）。

祝日や長期休暇は友人の実家に招待を頂いて、いつも楽しく過ごしています。どこの家庭に行っても、暖かく迎えてくれる上に、とても穏やかな時間が流れていて、とてもリラックスできます。

家族との談笑やお散歩、バーベキュー、そして親戚を訪ねるなど、日本とは全く違った家族との距離感や余暇の過ごし方が、とても心地いいです。

2年目は、ヤゲヴォ大学の大学院に進学し、英語でオンライン授業を受けていました。とてつもなく大変で、受験生だった頃よりシンドかったです（笑）。

ヨーロッパ学を専攻しているので、政治経済、歴史などとても幅広く学んでいます。留学前は遠くに感じていたヨーロッパのニュースや各国の関係性なども、今は授業のおかげで理解できるようになり、今ではとても身近に感じています。

長期休暇はコロナの影響もあり、遠出の海外旅行は控えるようになり、近隣の国と国内旅行で済ませるようになりました。そのおかげで、ポーランドについてより良く知ることが出来ました。またチェコやウクライナでは、自分のポーランド語力が役に立つこともあり、兄弟言語の類似性に驚きました。

3年目は、基本的なポーランド語でのコミュニケーションが取れるようになり、またポーランドの食事や習慣にもだいぶ慣れました。そして修士の2年目が始まります。不安なことも多いですが、たくさんの暖かい友人や友人家族の支えに感謝しながら、また1年頑張っていきたいと思います。

最後にいくつか写真を紹介します。もう2年以上もポーランドにいたので、厳選するのが大変でした（笑）

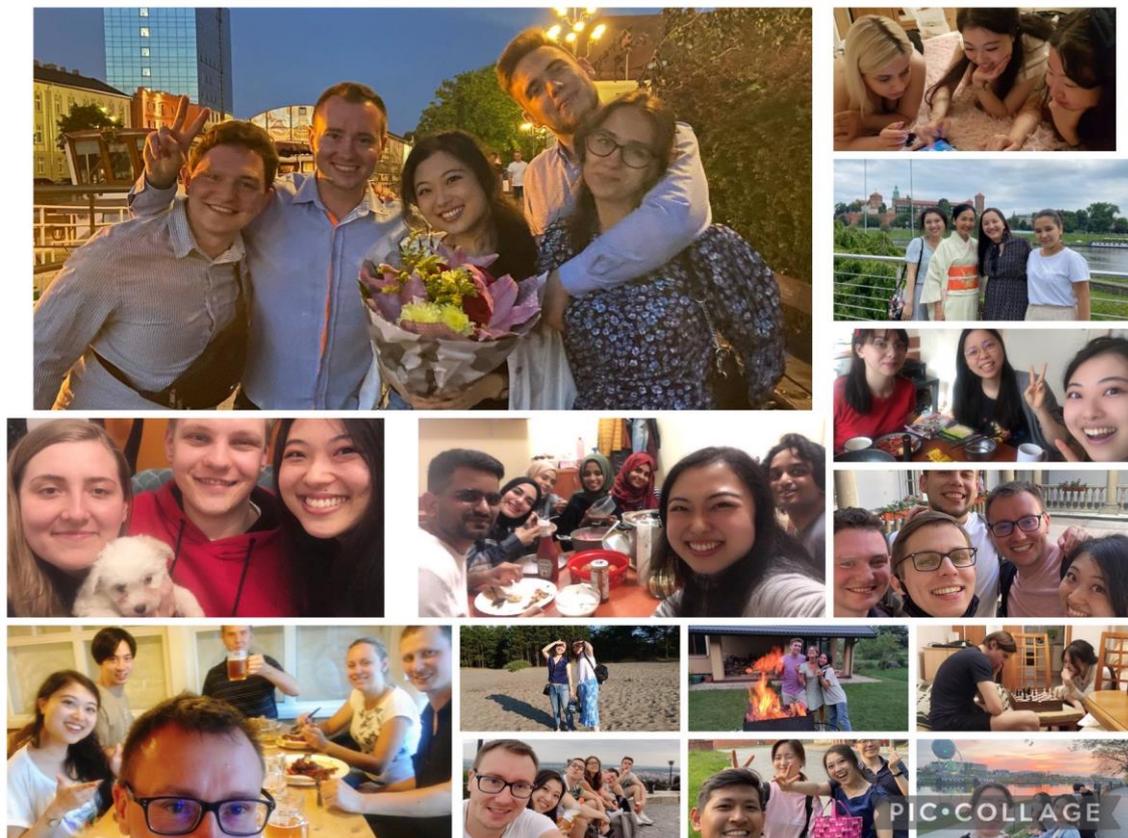
写真①

寮で出会った友人やクラスメイト、そして友人の家族です。寮ではよく友人と一緒に料理をしています。



写真②

友人とは料理だけではなく、一緒に旅行やイベント、ハイキングに行ったりもします。また仙台で出会った海外の友人たちと仙台ではなく、ポーランドやチェコで再会が果たせたのも嬉しかったです。



写真③

毎年、ポーランド行事（主にお盆、クリスマス、イースター）は友人宅で楽しく過ごしています。日本の行事とはだいぶ違うので面白いです。

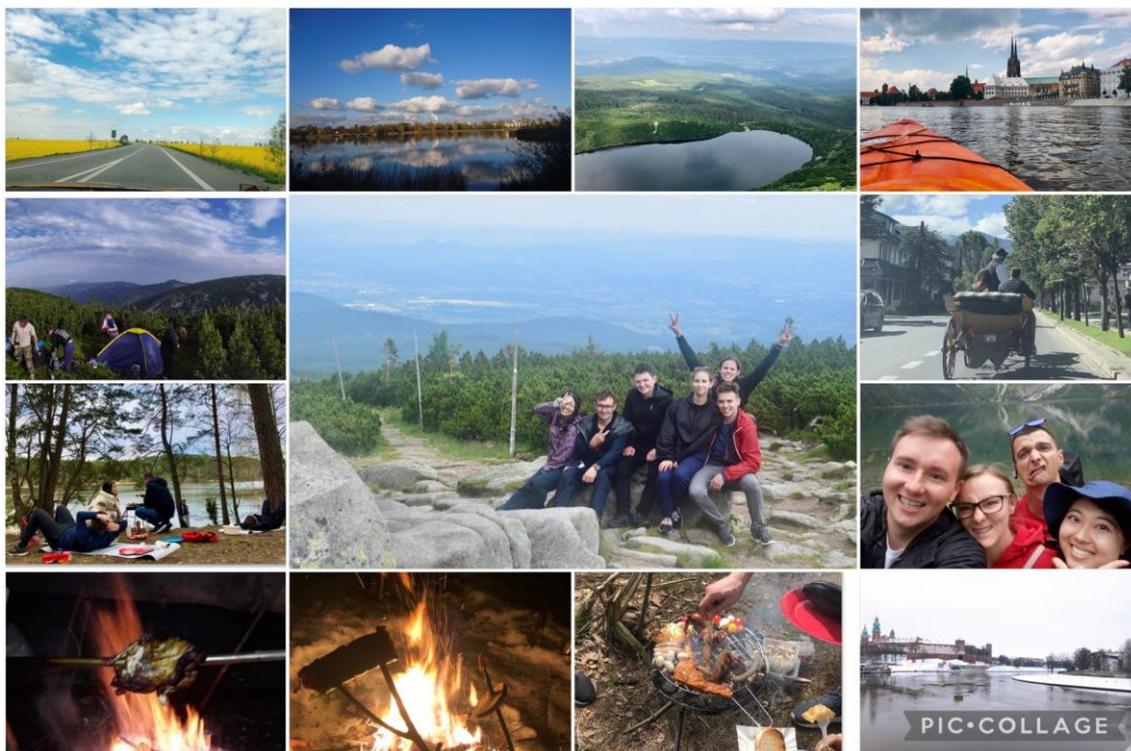


日本人はパンデミックの影響もあって、あまりいませんが、みんなのお陰で寂しいと感じたことはありません。

写真④

ポーランドの景色です☺日本とは真逆で国土の70%は平地です！今までたくさんの綺麗な景色を見てきました。

そしてポーランドはBBQがとても人気で、夏はもちろん冬でもやります（笑）。日本よりシンプルでワイルドです（笑）。なのでとても気楽に楽しめます。



写真⑤

ポーランドで訪れたお気に入りの街を集めてみました。

例え小さな街でも、それぞれ魅力があるのでとても楽しめます。

